

情報サービス業向け MIND-VIP

IS-VIP

システム企画研修棟

1. IS-VIP実施の目的・ねらい(Why)

これまでの生産性改善への取り組みの反省

これまでの「標準化」や「改善」は、企業全体を一体で捉えて推進組織が中心になって進めるため、以下の問題点がありました。

- ◆ 進める内容が一般的・平均的な内容で「切れ味」に欠ける。
- ◆ 各部門の参画意識が今一である。
- ◆ したがって、実施に時間がかかり、かつ中途半端な結果に終わっている。

(1) IS-VIP実施の目的

上記の問題点を以下の方法によって改善し、短期に大きな改革成果を実現します。

- ◆ 部門長が自らの責任で、自らの目標意識・問題意識によって、自部門の改革を進める（自己責任性の貫徹）。
- ◆ 部門の所属員が「衆知を集め」「納得づく」で、改革に取り組む。
- ◆ 部門の状況に対応した具体的な対策を実施する。
- ◆ これまでの業界の知見を集約した「テンプレート」を使用して検討を行うために、短期に試行錯誤なしで、改革実施にエネルギーを集中できる。

(2) IS-VIP実施のねらい

IS-VIPの実施によって、以下のねらいが実現できます。

- ◆ 部門が自らの特性を活かした業務実施方式を工夫・維持して行くようになる。
- ◆ 部門が自らの責任で改革を進める風土が醸成される。
- ◆ 真のノウハウ共有が実現する（全社共有は虚像）。
- ◆ そこから強い競争力が生み出される。

2. IS-VIP実施のテーマ(What)

以下の中から全体共通テーマを選択していただきます。

このテーマの中で参加者（部長級管理職者殿）が具体的なテーマを選定していただきます。

- ◆ 失敗プロジェクトの削減
- ◆ 開発工数ロスの削減
- ◆ 開発納期の短縮・開発費用の削減
- ◆ 開発品質（顧客満足度）の向上
- ◆ 稼働率の向上
- ◆ 営業成果の向上

3. IS-VIPの参加対象者(Where)

- ◆ ラインの部長級管理職者殿（含む営業部門）
- ◆ 1回に最大15人

4. IS-VIP実施方式(How)

第1ラウンド半年、第2ラウンド半年に分けて実施します。

その後状況によって、第3ラウンドを実施します（内容は個別に決定）。

第1ラウンド	第2ラウンド	第3ラウンド
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 基本的な推進方法は、通常のMIND-VIPと同じです（対象者、日程等）。 ◆ 1か月めの改善企画書作成は以下の方法で実施します。 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 事前に用意されたテンプレートを利用して、目標設定と解決策探求を行います。 ◆ テンプレートに対して補強・具体化を行って、自部門の改善企画を作成します。 ◆ 当社は、一般のMIND-VIPよりも内容に立ち入ってガイドします。 ◆ 改善実施を各部門の責任で実施することは、通常のMIND-VIPと同様です。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 弊社の基本的役割は進捗管理です。 ◆ 毎月1回集合して状況報告会を行います。 ◆ この過程が全社の情報・問題意識共有になります。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 状況によってフォロー実施

5. IS-VIP実施の時期・期間(When)

- ◆ 半年 改善実施

- ◆ 半年 改善成果実現

6. IS-VIPの実施体制(Who)

- ◆ プロジェクトオーナー：社長殿
- ◆ 実施責任者：開発・生産部門総責任者殿、またはテーマによって営業機能総責任者殿
- ◆ 主コーディネータ：上野則男
- ◆ 副コーディネータ：山本閔一他（情報サービス業精通者）

- ◆ 原則として、第1ラウンドと同一メンバ

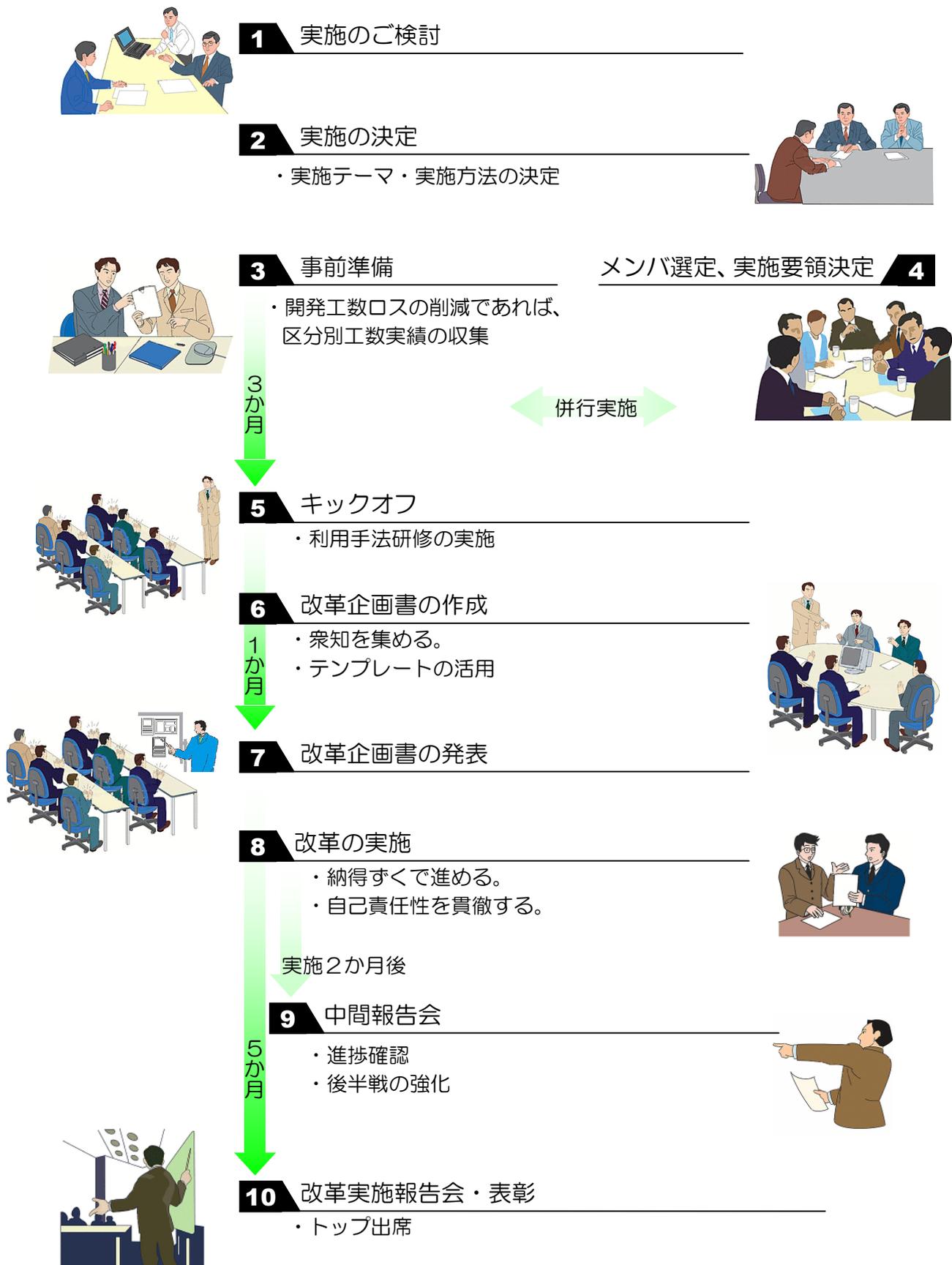
7.IS-VIPの実施支援料金(How much)			
第1ラウンド		第2ラウンド	第3ラウンド
A. 通常契約の場合	◆ 通常のMIND-VIPと同じで約650万円	◆ 300万円+消費税	◆ 個別にご相談
B. 成果報酬契約の場合	◆ 着手金：200万円+消費税 ◆ 終了時：効果想定利益額の1割（「効果算定の方法」参照）	◆ 終了時：効果実現利益額の15%—第1ラウンド支払い額	

効果算定の方法(たたき台)	
1. 開発工数ロスの削減の場合	
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 通常のMIND-VIPと同じ半年方式で実施します（前掲「4. IS-VIP実施方式」の第1ラウンドのみの実施となります）。 ◆ 成果報酬方式も可とします。 <p><効果算定方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 開始時点で、現状のロスを把握します。 あらかじめ工数記録を行っていただきます（3か月?）。 各人が以下の区分で毎日記録します。 プロジェクト名 作業工程名（決定する。標準はテンプレートでの区分） 改善区分（正規作業、手戻り、手直し、手待ち） ◆ その後も引き続き記録を行います（少なくともVIP実施期間中） ◆ 改善実施後に、同じ方式でロスを把握します。その差を改善効果とします。 	
2. 「失敗プロジェクトの削減」「開発費用の削減」の場合の効果算定方法	
<p>a. 対象案件規模の想定 平均1年間の年間発生金額を想定します。</p> <p>b. 改善有効度想定 Σ原因想定ウエート×解決策有効度 解決策有効度は解決策の種類によって決定します。 システム対応：90、仕組みの改善：60、解決策の具体化まで実施：40、等。</p> <p>c. 改善効果想定＝対象案件規模×改善有効度想定</p> <p>d. 第1ラウンドの参加者の成績評価時点では、改善有効度想定に解決策の実施度を加味します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 第1ラウンド改善効果想定＝c. の改善効果想定×解決策実施度 ◆ 解決策実施度 当該解決策を数回実施：0.9、同1回実施：0.6、解決策の具体化済み：0.4、等。 ◆ この改善効果想定金額が大きい順に入賞とします。 	

システム企画研修株式会社
 TEL:03-5696-3130 FAX:03-5696-3131
 E-Mail:mind-pc@newspt.co.jp http://www.newspt.co.jp/
 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町16-2 東事協ビル2F

IS-VIPの実施手順

以下の手順で実施いたします。



場合によって、第2ラウンドを実施します。